

心のとびら

弥富市立桜小学校
道徳通信 No.4
平成28年6月24日

—道徳の授業公開を通し、「理解する」から「ともに育てる」道徳教育へ—
6月12日（日）「ふれあい学級」での様子

3年松組 正直「ランドセル」

【正直な生き方を大切にする心を育む】

日々の生活の中で、故意ではなくても人に迷惑をかけてしまうことがあります。もしそれが誰にも気付かれなかったらどうするでしょう。主人公は葛藤しながらも最後には正直に告白することができましたが涙が止まりません。その涙の意味について考え、正直な行いをすることの大切さについて話し合いました。



3年竹組 友情・信頼「ドッジボール」

【友達の気持ちを考え、励まし合い、助け合おうとする気持ちを育てる】

3年の児童の中には、本時の主人公がドッジボールに消極的であることと重なる部分がある者がいます。ドッジボールを楽しく行うためには、周囲が励ましたり、教えたりすることの他に、嫌いな子自身が好きになろうと努力する姿を見せることが大切です。本時は自分自身の問題として生き方を考え、とても深く考えることができました。

4年松組 友情「絵はがきと切手」

【友達と互いに信頼し、助け合って友情を深めていこうとする心情を育てる】

友人から送られてきた定形外郵便の絵はがきの不足料金を主人公が払うことになり、そのことを友人に伝えるべきか迷います。4松の子どもたちは、伝えるべきと伝えないとで、意見を出し合い、本当の友情とは何かを真剣に話し合いました。また、保護者の方も考えを發表してください、とても充実した授業となりました。



4年竹組 生命の尊さ「ヒキガエルとロバ」

【生命の尊さを感じ取り、生命あるもの全てを大切にしようとする心情を育てる】

ヒキガエルに向かって小石をぶつけていたアドルフとピエール。足を踏ん張り、ヒキガエルの命を守る老いたロバ。自分達の犯した過ちに気付いたアドルフとピエールの思いを通して、命について考えました。

.....きりとり.....
道徳の取組への感想、または、地域でのちょっといい話がありましたら、お寄せください。

()年保護者
提出先：担任

5年松組 正直・誠実「祭りの日の拾いもの」

【他人の言動に動かされしないで、いつも誠実な態度で過ごそうとする気持ちを高める】

落ちていたサービス券で買った、たこ焼きの味を問うと「味がしない」「あまりおいしく感じない」など、様々な意見が出ました。異なる意見をもつ友達に、理由を問うことにより、考えを広げたり深めたりすることができました。



5年竹組 自由と責任「わたしの計画」

【自由について理解し、規律ある生活をしていこうとする気持ちを高める】

担任の先生が「今日から宿題を出しません。自分の勉強する時間を自由に考えよう」と、言われました。はじめは計画をたてて順調だった主人公なのですが、2学期になるとだんだん上手いなくなっていくます。授業では、「自由」とは何かを児童それぞれの立場から考えました。

6年松組 「一番高い値段の絵」

【友だちの気持ちを考えて行動することの大切さに気づき、相手を尊重しようとする心を育てる】

自分の描いた絵に浴びせられる厳しい批評に打ちのめされ、自殺さえ考えてしまうミレー。そのミレーのために、行動するルソー。ミレーのことを気遣うルソーの心の内について考えました。



6年竹組 友情、信頼「友情について考えよう」

【互いに信頼し励まし合いながら友情を深めていこうとする気持ちを育てる】

スポーツなら何でも得意な星野君と、一人で歩くことが出来ない定金くん。お互いの、相手を思いやる物語から、友情とはなにかを考えました。子どもたちの意見からは、困っているときに助け合えること、互いに協力し合えることなどの意見が出ました。

ゆり 自然愛護「公園のバッタ」

【身近な動植物に親しみ、大切にしようとする気持ちを育てる】

本教材は、公園で捕まえたバッタを家に持ち帰り世話をしますが、どんどん元気をなくしていく姿を見て気持ちが動くという話です。生きものを大切にするとはどういうことなのかを、主人公の姿から考えることができました。



すみれ 親切「がんこちゃんとオオカミ」

【身近な人に対して優しく親切にしようとする心情を育てる】

あかずきんちゃんの世界に入った主人公は、おばあさんに化けたオオカミにお粥を作ってあげました。オオカミは、主人公に感謝をしました。

すみれ 節度、節制「なくさない魔法」

【気持ちよく過ごすための、きまりやマナーについて考える】

使ったものをきちんともとの位置に戻すことにより、物がなくならないようになります。また、整理整頓されていると、気持ちもすっきりします。